



七尾市立七尾中学校 学校だより 令和6年7月8日

# やればできる

NO.18

## ◆校内「私の主張」発表大会

7月1日に、校内「私の主張」発表大会を実施しました。七尾市の中学校では、伝統的に全員が自分の考え、意見について原稿を作り、まずは学級予選を行い、その後、学級代表による学年予選を経て、校内大会を行い、学校代表を選出するというやり方を取っています。

このような機会を設けることで、「みんなに伝えたいことは何だろう」「自分はこれからこうしていくぞ」といった自分の心の中を整理する機会を持つことも貴重な経験となると思います。また、「自分の考えをまとめ、人に伝える」方法について体験していくことは、これからの社会で生きていくために必要とされている力を付ける絶好の機会であると考えています。

今回、各学年3名、合計9名の生徒が堂々と自分の考えを主張しました。内容もちろんですが、話し方・態度も大変すばらしかったです。

「家族の役割」	3年4組	折戸	優空
「すべての人に暮らしやすい世の中を」	3年4組	釜野	航多
「性別という鎖」	1年4組	永江	千紘
「あなたはどのように勉強しますか？どんな勉強をしていますか？」	1年4組	谷口	結香
「野球との出会い」	2年4組	橋屋	虎雅
「今の私にはすべきことがある」	3年3組	瀬戸	愛菜
「継続の大切さ」	2年1組	多嶋	咲哉
「人生とは」	1年2組	由久保	有晴
「日常の大切さ」	2年3組	浅田	恋奈



「論旨」「表現・感銘」の基準で審査し、最優秀賞の浅田 恋奈さんと優秀賞の永江 千紘さんが学校代表に決定しました。この2人は8月4日（日）本校階段教室で行われる全能登私の主張発表大会に七尾中の代表として出場します。

各学年予選、校内大会を運営してくれた学芸委員会の皆さんもとても素晴らしかったです。

## ◆うれしい電話

7月に入ったある日の夕方、ある病院の方から学校に電話がかかってきました。その病院にかかっている方が、七尾中学校の生徒に助けてもらった。大変ありがたかったとのことでした。生徒の名前が分かったので、本人（1年生男子生徒）から詳しく聞くと、七尾駅前の横断歩道を渡ろうとしていた高齢の方がふらふらしており、危なげであったことから、声をかけ、荷物を持ってあげたり、手を取って横断歩道を一緒に渡ってあげたりしたとのことでした。本人たちは特別なことをしたという意識もなく、自然にしてくれたようです。

また、別の日に3年生の男子生徒が、暑さのせいか道路に座り込んでいた高齢の方に声をかけ、水を買って渡してあげたとの報告も聞きました。

生徒たちの心が育っていることを実感できるうれしい出来事でした。